

## 舞鶴のNPO法人「よのなか塾」



寄贈されたタブレットを手に喜ぶ子供たち—舞鶴市のよのなか塾

## 「誰にも勉強機会を」

### 大阪の会社、タブレット寄贈

生活困窮家庭の子供の学習支援やひきこもりの人たちの居場所作りなどの活動を続けているNPO法人「よのなか塾」（舞鶴市市場）に、「イー・ラーニング

研究所」（本社・大阪府吹田市）から学習用タブレット10台などが寄贈され、3日、同塾で贈呈式が行われた。

舞鶴市内で同社の代理店

をしている男性の子供が同塾に通っており、同塾の理念と同社の理念に重なる部分が多いとして、今回の寄贈が決まったという。寄贈されたのはタブレット10台と学習アプリを利用できるアカウント35人分で、小学校から高校までの主要教科の学習や資格取得のための学習が可能という。

贈呈式では、同社の吉田智雄社長から同塾の早田太郎塾頭に目録が手渡された。吉田社長は「誰にでも等しく勉強する機会を」というのが当社のモットー。地域の子供たちの成長につながる事業に役立ててほしい」と話した。

また、同塾はNPO法人「イエロー・エンジェル」から約350万円の助成を受けた。「イエロー・エンジェル」は、カレー・チェインC.O.C. 壱番屋の創業者、宗次徳二さんが理事長を務めており、同塾の活動理念に共鳴して助成。助成金は塾の授業料減免に充てる費用などとして活用するという。